
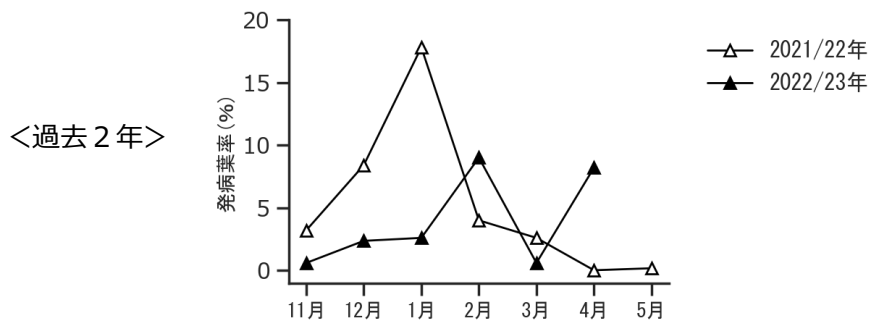
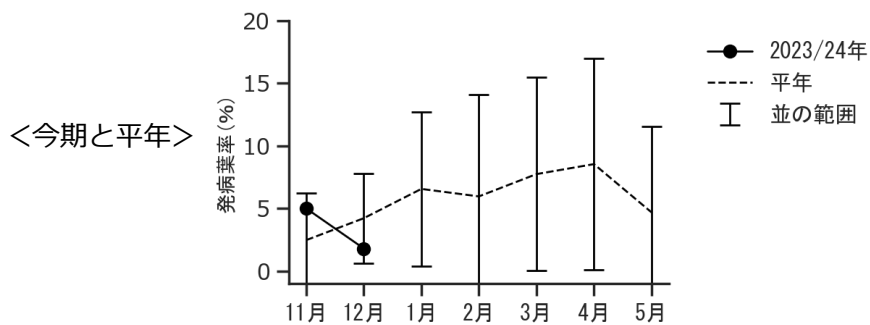


作物	ニガウリ(施設)		地域	宮古群島
病害虫名	① うどんこ病			
調査結果	12 月の発生量 (平年比)	並		
予 報	12 月からの増減傾向	↗		
		1 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)		

調査結果


発病葉率の推移



・発生施設率60.0% (平年 : 47.3%)

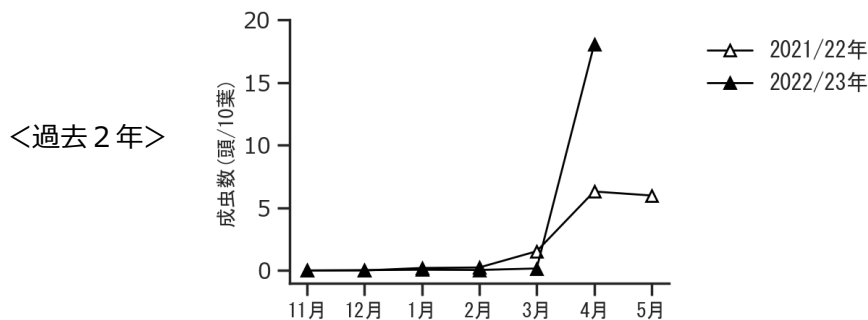
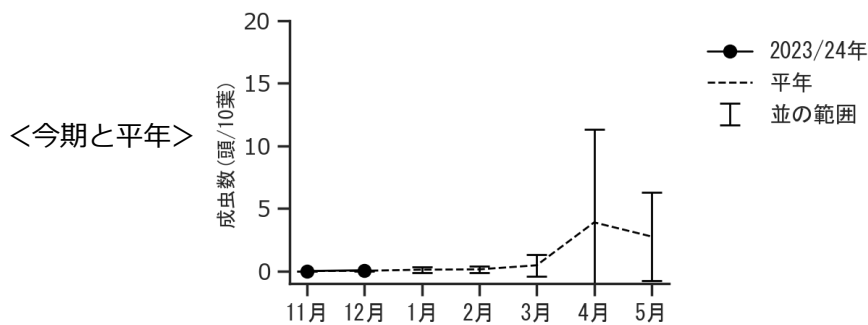
防除のポイント

- ・多湿条件で発生し、その後乾燥が続くと被害が拡大するため、湿度管理に注意する。
- ・過繁茂を避け、透光通風を良くする。
- ・老葉や発病葉は伝染源になるので除去し、施設外に持ち出し処分する。
- ・多発すると防除が困難になるため、予防散布に重点をおく。硫黄粉剤による予防は効果が期待できる。

作物	ニガウリ(施設)		地域	宮古群島
病害虫名	② タバココナジラミ			 <p>成虫</p>
調査結果	12 月の発生量 (平年比)	やや多		
予報	12 月からの増減傾向	→		
	1 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)		

調査結果

成虫数の推移




・発生施設率20.0% (平年：9.1%)

防除のポイント

- ・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
- ・施設の出入口や天窓は目合いの細かいネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- ・黄色粘着テープ等により、早期発見・防除に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系等の薬剤も利用する。
- ・幼虫は下位葉の葉裏に多いことに留意しながら薬剤散布を行う。

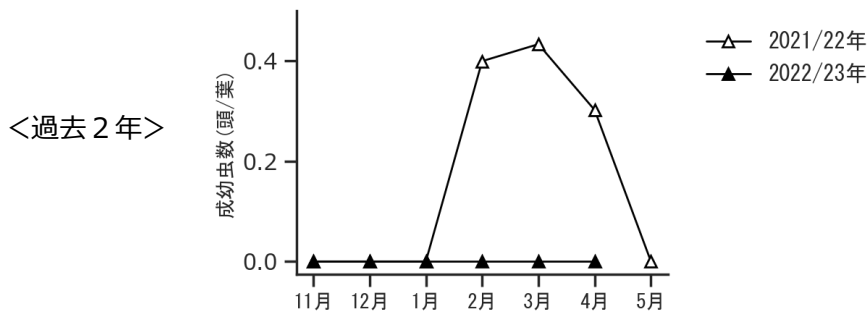
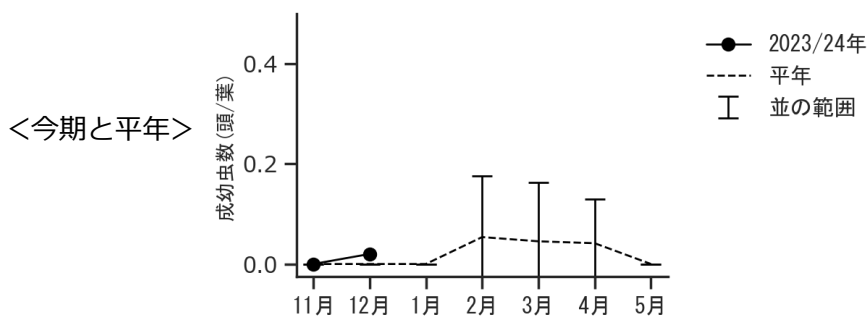


幼虫

作物	ニガウリ(施設)		地域	宮古群島
病害虫名	③ アブラムシ類			
調査結果	12 月の発生量 (平年比)	やや多		
予報	12 月からの増減傾向	→		
		1 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)		

調査結果

成幼虫数の推移



- ・発生種：ワタアブラムシ
- ・発生施設率20.0% (平年：0%)、一部施設で発生

防除のポイント

- ・アブラムシ類はズッキーニ黄斑モザイクウイルスやパパイヤ輪点ウイルス等を媒介する。
- ・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
- ・施設の出入口や天窓は目合いの細かいネット等で被覆し、有翅虫の侵入を防ぐ。
- ・早期発見に努め、薬剤が葉裏にかかるよう丁寧に散布する。